様式4

都市再生整備計画　フォローアップ報告書
豊川音羽歴史地区

平成27年3月

愛知県豊川市

1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指　標		単位	従前値	目標値	事後評価						フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	地区内歴史文化文化施設来場者数	人/年	25,396	27,343	27,606	確定		○	あり		27,520	平成26年12月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	観光案内看板やマツ並木の保全・整備等により来訪者の増加につながった。
						見込み	●		なし							
指標2	地区内人口	人	40,964	42,214	42,222	確定		○	あり		42,083	平成26年7月	△		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	他地区が増加傾向の頭打ち、または減少傾向に転じるなかで、増加傾向を示していることから、本計画により実施した基盤施設の整備や、各種防災・防犯対策等の実施が生活環境の向上に寄与し、定住人口の増加に繋がったと考えられ評価できる。
						見込み	●		なし							
指標3	住宅戸数	戸	818	1,165	1,263	確定		○	あり		1,278	平成26年7月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業の進捗にあわせ、地区内での住宅戸数が確実に増加している。
						見込み	●		なし							
指標4						確定			あり			H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし							
指標5						確定			あり			H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし							

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-①から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指　標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定					H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み									
その他の数値指標2						確定					H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み									
その他の数値指標3						確定					H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み									

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート　添付様式5－③に記載した今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題　その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	人口定着のさらなる促進	豊川西部土地区画整理事業 子育て支援事業（豊川市役所音羽支所周辺）	宅地の有効利用が進み、土地区画整理地区内の居住人口が増加している。	土地区画整理事業などの基盤整備の一層の推進を図る必要がある。
	歴史的景観の保全・活用	歴史的資源を活かしたイベント実施 アダプトプログラムの推進	東海道でウォーキングイベントを実施し、地区の歴史的景観のPRし、多くの参加者があった。	歴史的景観を保全・活用するため、イベントのみならず、地域に残る歴史的資源を活用してPRを推進する。
	市域の一体性のさらなる向上	安全・安心事業（防災・防犯・交通安全施設等の整備）	防犯ボランティアの活動等が実施され、安全安心なまちの環境が維持されている。	交通安全施設等の整備などの基盤整備の一層の推進を図り、市域の一体化の向上を推進する必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他　必要な改善策				

事後評価シート　添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題　その他特記事項